



いざ地震が起きたら!!

全世界で起こる地震の約18.5%がこの小さな島国、日本で起きています。『いつ』『どこで』発生するかわからない地震、自分自身や家族の生命を守る為に、日頃から地震に備えるとともに、知識や心得を身に付けておくことが大切です。今回はそれぞれのシチュエーションでの対応を中心に紹介します。

家の中では

- ・玄関や窓などを開けて、いつでも逃げられるように出口を確保しましょう。
- ・丈夫な机やテーブルの下にもぐるなど、身の安全を守りましょう。
- ・2階にいる時は慌てて階段を駆け下りたりしないようにしましょう。



外では

- ・窓ガラスや看板などの落下物に注意して、カバンなどで頭を守り、安全な所に避難しましょう。
- ・ブロック塀や自動販売機などの倒れそうなもの、垂れ下がった電線には近づかないようにしましょう。

スーパー・デパートでは

- ・エレベーターを使ってはいけません。
- ・店内放送や店員の指示に従って行動しましょう。
- ・壊れやすいものや倒れやすいものから離れ、カバンや買い物かごで頭を守り、落下物に注意しましょう。



エレベーターの中では

- ・全ての階のボタンを押して、止まった階で降ります。閉じ込められたら呼び出しボタンを押し続けます。

地下街では

- ・構造的に丈夫で、火災に対する設備も充実しています。揺れがおさまってから、落ち着いて誘導標識や誘導員の指示で避難します。

車や乗り物に乗っていたら

- ・道路の左側に寄せて車を停車させ、カーラジオで地震情報を確認しましょう。
- ・車から離れるときは、ドアロックせずにキーは付けたまま、出来れば車検証などを持って行きます。
- ・電車やバスでは、手すりなどにしっかりつかまり、非常口から脱出するときは係員の指示に従います。

**高台に避難
してください**

海にいたら

- ・すぐに高台に移動し、津波情報に気を付けましょう。
- ・平地では出来るだけ海から遠くへ移動しましょう。
- ・海水が、近くの川を逆流することがあるので、川にも近づかないようにしましょう。

